



ADRC Highlights

Asian Disaster Reduction Center Monthly News

Vol. 207
June
2010

トピックス

関係機関との防災協力推進

↑ 防災分野での地域協力

↑ 第21回アセアン宇宙技術利用小委員会

ADRCスタッフ紹介 No. 39

川脇康生
IRP上席復興専門官

お知らせ

異動

Asian Disaster Reduction Center アジア防災センター

〒651-0073
神戸市中央区脇浜海岸通
1-5-2 ひと未来館5F

Tel: 078-262-5540
Fax: 078-262-5546
editor@adrc.asia
http://www.adrc.asia

© ADRC 2010

●関係機関との防災協力推進 防災分野での地域協力

国際防災協力は様々なレベルで実践されていますが、最近活動が活発化しているのが東南アジア諸国連合（ASEAN）、南アジア地域協力連合（SAARC）、日中韓、中央アジア・コーカサス等の地域協力です。本年1月に開催したアジア防災会議2010（於神戸市）でも「防災分野でのサブリージョナル・コーポレーション」というセッションを設け、各地域の取組みについての相互の情報・意見交換を行いました。このような取組みはその後も進捗しており、そのうち中央アジア及びASEANでの最近の動きをご紹介します。



[中央アジア・コーカサス防災調整会議]

1. 第3回中央アジア防災センター設立に関する協議会 (アルマティ、カザフスタン 4月27日)

中央アジアでは、地震、洪水、地滑り、雪崩、旱魃等の頻発する自然災害への対応能力を向上することが喫緊の課題となっています。そのような取組みの一環として、2005年1月に神戸市で開催された国連世界防災会議において中央アジア災害予防・対応地域センター（Regional Disaster Preparedness and Response Coordination Centre）（以下「中央アジアセンター」）の設立が提起され、それ以降検討を重ねてきています。アジア防災センター(ADRC)では、本構想の実現に向けて当初より協力してきており、本年4月にカザフスタン・アルマティ市での中央アジアセンター設立に関する第3回協議会にも参加しました。

協議会には、カザフスタン（副大臣が参加）、キルギス、タジキスタンの各国政府の代表者に加えて、国連関係機関（UNDP、UNISDR、UNHCR）、ドイツ技術協力公社(GTZ)、国際赤十字・赤新月社連盟(IFRC)等も参加しました。

協議会では、中央アジアセンターの設立が急務であるとの認識が共有され、また、各国や関係機関から支援の申し出があるなど、中央アジアセンターに対する期待が感じられました。しかしながら、設立に向けてはまだ多くの実務的課題が残されているため、それらを解決するための常設の準備委員会（仮称）を年内に設置することが合意されました。

続き

2. ASEAN ADDMERパートナーシップ会議 (マカティ、フィリピン 5月20日)

ASEAN Agreement on Disaster management and Emergency Response (ADDMER) は、昨年12月24日に発効したASEAN地域の防災分野での協力の枠組みです。このADDMERを実施していくためのワークプログラム2010-2015は、本年3月にシンガポールで開催されたASEAN防災委員会 (ACDM) で承認されましたが、今回のパートナーシップ会議では、そのフェーズ1 (2010-2012) において優先的に実施するFlagship Projectsをドナー国や関係機関に対して紹介するとともに、今後の協力のあり方が検討されました。アジア防災センターも関係機関の一つとして招待されました。



3. 今後の協力のあり方について

これらの新たな防災分野での地域協力を進めるに当たっては、安定した財政基盤や制度・組織がないこと、国間の利害の相違等に関連する多くの課題があります。これらの地域協力の枠組みでは、平時における防災に関する情報・知識の整備や人材育成等を行うことが期待されていますが、アジア防災センターはそのような分野での事業の経験や知識の蓄積を有しており、引き続き積極的に協力していきたいと思います。

第21回 アセアン宇宙技術利用小委員会 2010年5月17日-18日 ビエンチャン/ラオス

平成22年5月17、18日に、ラオス国、ビエンチャンで開催された、第21回アセアン宇宙技術利用小委員会 (SCOSA) 会議へ出席しました。

この会議では、アセアン各国の宇宙技術に関する機関が出席し、SCOSAで実施しているプロジェクトや新しいプロジェクトや、宇宙技術の利用に関する課題が話し合われました。ADRCは、日本アセアン統合基金による「災害管理における衛星画像の防災利用」プロジェクトをアジア工科大学の協力のもとに実施しており、この会議において、プロジェクトの実施状況を報告しました。

このプロジェクトは、シンガポール及びマレーシアを除くアセアン8ヶ国を対象として、防災分野への衛星画像利用を促進するものであり、講習と実習を各国で実施する予定です。

現在、講習と実習で使用する教材を作製しており、平成22年7月から、講習会と実習を各国で順次実施する予定です。

なお、プロジェクトの概要および実施状況は、<http://www.geoinfo.ait.ac.th/adrc/index.htm>で公開しています。

●ADRCスタッフ紹介 No. 39**川脇 康生 IRP上席復興専門官**

今年の4月1日付けで兵庫県からADRCに派遣され、国際復興支援プラットフォーム（IRP）の上席復興専門官として勤務しております川脇です。これまで兵庫県の職員として、土地利用計画や建物改修工事に建築技術者として携わったほか、兵庫県の関係するシンクタンクや大学の運営を担当するなど、多方面に渡る研究や業務に携わってきた異色な経歴を持っています。

しかし、IRPという国際機関を担当するのは今回が初めてとなります。IRPの運営委員会は13の政府機関・国連機関等から構成されており、IRP事務局はこれら機関の調整を図り、IRPを国際的な災害復興支援のプラットフォームとして機能させていくという重要な役割を担っています。

これまでの経験を最大限生かし、国際復興支援に少しでも多くの貢献ができればと思っております。皆様のご支援をどうぞよろしくお願い致します。

**●お知らせ****異動**

2010年5月末日をもちまして、大堀正人主任研究員が退職されました。今後のご活躍をお祈りいたします。

問い合わせ・配信申し込み

このニュースレターに対するお問い合わせ、またEメールによる配信をご希望の方は
editor@adrc.asia までEメールをお寄せください。